

#0028

GUNDAM FIX #0028 FIGURATION

DESIGN & DIRECTION: Katoki Hajime

MODELING: Miyashita Kenichi FINISHING: Matsumoto Takashi COLORING: Miyashita Kenichi MARKING: Kono Yuji (Jani)

PHOTOGRAPH: Takase Yuzji (Takase Photo Office) EXPLANATION: Watanabe Toshihiro (SHINGOUSA)

COMMERCIAL DESIGN: Unno Daisuke (DAMNANT)



RX-77-2 GUNCANNON

ASSIGNMENT: EARTH FEDERATION SPACE FORCES
MODEL NUMBER: RX-77-2
HEIGHT: 18.1m
HEAD HEIGHT: 11.5m
WEIGHT: 51.8t
FULLY EQUIPPED WEIGHT: 78.8t
GENERATOR OUTPUT: 1.2MW
PROPULSION: ROCKET THRUSTERS, SLAMING
MATERIAL: LINNA TITANIUM ALLOY
SENSOR RANGE: 3,800m
ARMAMENTS:
FIRE-80mm VULCAN GUN,
28mm CANNON,
HAND GRENADE,
BEAM RIFLE,
SPRAY MISSILE LAUNCHER



ガンキャノンから
ガンキャノン量産型へ換装可能。



RX-77-2ガンキャノンは、ガンダムやガンタンクと共に、連邦軍が「V作戦」に基づいて開発した中距離支援型MSである。ガンダムが「近接戦闘やの兵隊にも対応する万能型の機体」で、ガンタンクは「長距離から支援する機体」に相当し、ガンキャノンは「中距離から支援する機体」である。主に東方からの支援攻撃や中距離からの攻撃などの任務が想定されていたため、機動性よりも耐弾性を優先した設計がされた。当時のMSとしては結構の装甲強度を持つ。ただし、その走破性や機動性は、東方下においても充分実用に見えるものであり、特に、不意地帯などに於ける砲撃からの攻撃は被害率も低く、強固な装甲とも相まって、格闘地帯においては地上空戦においても多大な効果をあげている。シャッロー型防戦口は同型機が2機ホワイトベースに配備されていた時期もあり、108にはカインシエンが、109にはハヤト・コバヤシが専任パイロットとして搭乗していた。

RX-77D ガンキャノン量産型は、一年戦争末期に配備された中距離支援用の量産型MSである。従反動キャノン砲は、取り回しを容易にする為に半機械式とされた。精密な射撃が必要な場合には、砲架下部のスタビライズド・ギアを駆使させ、より安定した砲撃を行うことができる。プロトタイプに出してコストダウンを測いているが、RX-77-2に匹敵する性能であるとされている。これは、連邦軍がある程度は生産技術を開発してから開発したためである。しかし、配備が始まったのは戦争末期だったため生産数は少なく、実戦投入された例も、サイド6戦線のグレイファントム隊以外にほとんど存在しない。

RX-77D GUNCANNON MASS PRODUCTION TYPE

ASSIGNMENT: EARTH FEDERATION SPACE FORCES
MODEL NUMBER: RX-77D
HEIGHT: 18.1m
HEAD HEIGHT: 11.5m
WEIGHT: 51.8t
FULLY EQUIPPED WEIGHT: 78.8t
GENERATOR OUTPUT: 1.41MW
PROPULSION: ROCKET THRUSTERS, SLAMING
MATERIAL: TITANIUM CERAMIC COMPOSITE
SENSOR RANGE: 1,300m
SPECIAL EQUIPMENT: STABILIZING GEAR
ARMAMENTS:
FIRE-80mm VULCAN GUN,
28mm CANNON,
BEAM RIFLE,
8mm MACHINE GUN



ガンキャノンはファーストシリーズの主要メカなので、これまで何度も模写化されています。したがって自にする機会も多く、その最終的なポジションからしても、もはやこれといった見所は残って無い、考える方も減るかもしれません。今回ガンダムフィックスフィギュレーションで立案されたガンキャノンも、レトロなラインを重視しているので、オーソドックスに見えると思います。しかし、頭部には機敏なアレンジが施されていますので、ファースト以降のスマートなMSと並べた時に劇中のバランスに仕上がっています。またガンキャノン量産型は普通のガンキャノンとあまり変わらない機にも見えますが、一部でも機敏な部分がある人なら、促しているのは色も似て、ボディバランスが全く違うMSだという事をご存知だと思います。この点についても、異域や別の機種の見せ方に、設定なども利用してコンパチブルを実現した過程に注目して下さい。他機ながら効果の高い、いさし劇的なポジションはまさにキャノン的です。きっと貴方が味わいたい場所があることでしょう。

デザイナー・カトキハジメ

※RX-77-2は、商品中の標準カラー。RX-77Dのカラーは、RX-77-2の標準カラー。多少異なる場合があります。